

石井秀樹(里山管理論・造園学・環境アメニティ論)



生存・生活基盤としての“農村・里山”の《多面的機能》をいかに引き出すか
その“在るべき姿”と、これを実現する“方法論”からなる《計画論》の構築

地域環境の《実態把握》から、《課題》《ニーズ》を定め、自然や社会の“摂理”の科学的《現象説明》に基づき、農村・里山の、景観・暮らし・資源利用・土地利用・文化・風土をプランニング（計画）・デザイン（設計）する。

What? 何が起きているか?

現象説明～自然の摂理

水稻試験栽培

- A)伊達市小国 (2012-)
- B)南相馬市 (2014-2016)

放射能計測機の開発

- C)土壌スクリーニング測定器

土地利用型農業（畑作物）の推進

- D)トウモロコシ・ソルガム
- E)菜の花栽培と搾油

☆農地・里山の“福祉とアメニティ”
F) 震災関連死への対処

実態把握～社会の動態

環境放射能モニタリング

- G)土壌スクリーニングPJ
- H)農地や森林の空間線量計測
- I)防火水槽
- J)飲み水調査
- K)山菜・キノコ
- L)労働別の積算線量調査
- M)原子力災害下の社会変容

How? いかに“在るべき”か?

制御論・管理論・計画論・設計論

- a)地質と水稻セシウム吸収リスク
- b)フォールアウト時の管理論
- c)汚染実態把握の迅速化・社会化
- d)省力型作物と放射能汚染対策
- e)放射能抑制と食品加工・耕畜連携
- f)Community Based の自然のCare力

問題提起（気づき）

- g)除染計画策定、協同組合間連携
- h)訴訟・ADR、山火事対策と森林整備
- i)指定廃棄物と廃棄物処理の二重基準
- j)住民エンパワーメント・行政折衝
- k)失われたヤマの豊かさの価値
- l)除染計画・放射線防護の優先度
- m)原子力災害の特殊性

Solution 課題解決のご提案

政策・計画・デザイン・実践

- ①水稻セシウム吸収リスク（地質・水）に基づく持続可能な放射能対策の構築
- ②農繁期・雨季・火山岩地帯の世界的な原子力災害対策の提言
- ③省力型農地による農地保全と被曝低減
- ④耕畜連携・土壌豊富化・農地保全による新しいランドスケープの創造
- ⑤福祉としてのランドマネージメント
- ⑥市民による主体的な放射能計測
- ⑦原子力災害の克服と公共空間形成
- ⑧放射性物質の処分問題・再生利用

福島の災害経験を世界に！

福島の農業再生から新しい生活・暮らしのデザインを